

特定非営利活動法人日本火山学会 2021 年度通常総会 議事録

開催日時および開催場所

2021 年 5 月 28 日、14 時 00 分～14 時 44 分

Zoom による遠隔会議開催。

初めに出席数を確認した。通常総会時の維持会員数は 288 名で、定款第 26 条の規定により総会は維持会員の 1/3 以上の出席をもって成立するので、今回は 96 名以上の出席で総会が成立する。ウェブサイトのフォームへの記入による議決行使者 89 名、はがきによる議決権行使者 87 名を会長が出席者とみなし、合計 175 名の出席を認定し、定足数 (96 名) を超えたため本総会は成立していることを確認した。これを受けて、会長が開会を宣言した。

議題 1 2020 年度決算案

財務委員から提示された 2020 年度決算案 (別添資料 1) および監査結果 (別添資料 2) は、賛成多数により提案通り承認された。(賛成 175 票、反対 0 票、無効 2 票)

議題 2 2021 年度予算案の承認

財務委員会より 2021 年度予算案が別添資料 3 の通り提案され、賛成多数で提案通り承認された。(賛成 174 票、反対 0 票、無効 2 票)

議題 3 として議事録署名人として千葉達朗・高木朗充両副委員長を選出した。

なお、報告・連絡事項として、庶務委員会から会員数動向について、大会委員会から 2021 年秋季大会開催について、学校教育委員会から子どもサマースクールの開催変更について、火山防災委員会から防災学術連携体の一般社団法人化および火山防災シンポジウムの開催について、国際委員会からアジア火山コンソーシアム開催状況および CoV・IAVCEI の大会の延期について、ジオパーク支援委員会から日本ジオパーク学術支援連合への火山学会の参加について、広報委員会から Facebook、Twitter による情報発信について、各賞選考委員会から表彰規程の修正および各賞委員構成の変更 (宇平委員の退任と山里委員の委員就任) について、事業委員会からオリジナルノート販売事業状況及び今年度の事業計画について、将来計画委員会の活動状況について、編集委員会から「火山」編集状況について、それぞれ報告を行った。

以上、予定した議題をすべて審議・採決を行ったことを確認し、会長が閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2021年5月31日

日本火山学会長 西村太志

議事録署名人 千葉達朗 高木朗充

【1. 2020年度決算の概要】（詳細は別紙の表を参照）

○名目および実質黒字33万円.

異例の黒字は、**コロナ禍**で各種事業が中止・オンライン化されたため.

cf. 例年は数十～百万円程度の実質赤字. 2019: 76万(名目も76万), 2018: 59万(名目209万)

名目と実質の差=ACV(アジア火山学コンソーシアム)基金からの出費. 2019・2020はACV基金出費なし.

○経常収入：1191万円（前年－106万）

若干の減収.

- ・前年比：会費：－14万，大会参加費：－57万，火山別刷販売：－44万，火山購読：－10万など
- ・「その他事業」収入（広告掲載）：今期も無し

○経常支出：1158万円（前年－215万）

想定より支出少なかった. 特に当初予算に比べ支出は大幅縮小. コロナ禍の影響大.

- ・内訳：事業費454万（前年－202万），管理費704万円（前年－13万）
- ・前年比：秋季大会：－103万，会誌：－77万，普及啓発：－11万，公開講座：－16万，
棚卸：+8万，など
- ・予算との差が大きかった要因：
秋季大会のオンライン化（ca.100万），現地討論会・交流会中止（280万；去年から計上），
火山カラーチャージ負担の残（ca.50万），各種出張のとりやめ・オンライン化など.
それ以外の主な未使用予算：ACV31万、将来計画30万、理事会旅費40万、国際賞40万など.

○次期繰越収支差額：

1060万円（うちACV基金残額31万円），実質繰越1029万円（前年+68万）

【2. ウィズ・コロナ／ポスト・コロナ社会への対応】

- ・仮に感染拡大が収束しても，会議・イベント類のオンライン化の流れは今後も続きそう.
- ・もしかしたら，感染の波が消長を繰り返しながらまだしばらく続く可能性も？

→ いずれにせよ以前と同じようにはいかないはず.

収入増加策・支出減少策と合わせ，今後の事業展開をよく考える必要.

以上

2020年度決算(案)

ver.210518a

勘定科目名称	2020予算	2020実績	実績差異	備考
《経常増減の部》				
【経常収入】				
【会費収入】				
維持会員会費	2,750,000	2,815,000	65,000	
学会会員会費	4,656,000	4,884,000	228,000	
一般会員会費	913,000	930,000	17,000	
【会費収入】合計	8,319,000	8,629,000	310,000	
【寄付金収入】				
【寄付金収入】合計	0	0	0	
【補助金等収入】				
文部科学省助成金収入	700,000	538,834	-161,166	
【補助金等収入】合計	700,000	538,834	-161,166	
【事業収入】				
火山定期購読料	800,000	781,000	-19,000	
火山別刷販売金	150,000	256,489	106,489	
予稿集販売金	250,000	148,940	-101,060	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
書籍等販売金	75,000	339,971	264,971	学会オリジナルノート販売
大会参加費等	4,130,000	960,000	-3,170,000	現地開催取りやめ、討論会・交流会中止のため。
【事業収入】合計	5,405,000	2,486,400	-2,918,600	
【その他収入】				
受取利息	300	285	-15	
雑収入	50,000	256,329	206,329	著作権料など
【その他収入】合計	50,300	256,614	206,314	
【経常収入】合計	14,474,300	11,910,848	2,563,452	
【経常支出】				
【事業費】				新型コロナウイルス感染拡大による影響大
火山学に関する定期大会等の開催費				
予稿集印刷費	350,000	131,230	-218,770	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
予稿集発送費	20,000	19,850	-150	
臨時雇賃金	300,000	25,440	-274,560	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
会場使用料・委託費	650,000	0	-650,000	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
旅費謝金	360,000	14,760	-345,240	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
通信運搬費	70,000	58,723	-11,277	
機材借料	100,000	0	-100,000	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
現地討論会・交流会費	2,800,000	0	-2,800,000	現地討論会・交流会は中止。
雑費	1,190,000	105,494	-1,084,506	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
火山学に関する定期大会等の開催費 合計	5,840,000	355,497	-5,484,503	
会誌機関紙研究報告書等発行費				
火山印刷費	3,760,000	1,804,445	-1,955,555	
火山発送費	500,000	335,378	-164,622	
別刷印刷費	350,000	59,070	-290,930	
別刷発送費	40,000	7,140	-32,860	
通信運搬費	50,000	3,004	-46,996	
火山雑費	460,000	165,605	-294,395	
会誌機関紙研究報告書等発行費 合計	5,160,000	2,374,642	-2,785,358	
公開講座講演会等開催費				
臨時雇賃金	50,000	8,480	-41,520	
旅費謝金	300,000	17,814	-282,186	現地開催取りやめ(オンライン開催)のため。
通信運搬費	50,000	49,194	-806	
印刷費	200,000	176,850	-23,150	
雑費	300,000	287,896	-12,104	
公開講座講演会等開催費 合計	900,000	540,234	-359,766	
火山学の普及啓発に関する事業費				
臨時雇賃金	8,000	0	-8,000	各種事業中止のため。
旅費謝金	1,090,000	0	-1,090,000	各種事業中止のため。
通信運搬費	20,000	19,839	-161	
印刷費	330,000	160,600	-169,400	
雑費	313,000	126,475	-186,525	
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	1,761,000	306,914	-1,454,086	
火山学に関する研究奨励表彰費				
その他印刷費	50,000	24,920	-25,080	
奨励費	400,000	0	-400,000	国際奨励賞なし
雑費	50,000	18,268	-31,732	
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	500,000	43,188	-456,812	

2020年度決算(案)

ver.210518a

勘定科目名称	2020予算	2020実績	実績差異	備考
他団体援助金支出				
他団体援助金支出	800,000	600,000	-200,000	EPS, 地学五輪, サマスク, 例年通り支出.
他団体援助金支出 合計	800,000	600,000	-200,000	
【期首・期末棚卸】				
売上原価	0	321,105	321,105	期首・期末棚卸高の差, 在庫整理
【期首・期末棚卸】 合計	0	321,105	321,105	
事業費 計	14,961,000	4,541,580	-10,419,420	
【管理費】				
給料手当	3,900,000	3,724,977	-175,023	
法定福利費	640,000	629,030	-10,970	
福利厚生費	10,000	7,160	-2,840	
旅費交通費	810,000	208,800	-601,200	理事会オンライン化等
通信運搬費	470,000	313,828	-156,172	
消耗品費	180,000	85,866	-94,134	
光熱水料費	120,000	90,363	-29,637	
賃借料	340,000	323,196	-16,804	
租税公課	150,000	135,730	-14,270	
支払手数料	800,000	778,152	-21,848	会計事務所
減価償却費	169,553	169,553	0	
徴収不能額	0	324,000	324,000	滞納除名者
保険料	5,678	5,678	0	火災保険料1年分
雑費	860,000	239,671	-620,329	HP改修ほか.
管理費 計	8,455,231	7,036,004	-1,419,227	
【経常支出】 合計	23,416,231	11,577,584	-11,838,647	
当期経常増減額	-8,941,931	333,264	9,275,195	
《その他資金の部》				
【その他資金収入の部】				
【その他資金収入の部】 合計	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
【その他資金支出の部】 合計	0	0	0	
《正味財産増減の部》				
当期正味財産増減額	-8,941,931	333,264	9,275,195	
前期繰越正味財産額	32,792,232	32,792,232	0	
次期繰越正味財産額	23,850,301	33,125,496	9,275,195	年度末における正味財産(純資産)
固定資産額		21,463,788		
期末棚卸高		1,042,973		
前払費用		14,195		
前期繰越収支差額		9,924,940		
次期繰越収支差額		10,604,540	679,600	内ACV(IAVCEI寄付)残金31万

監 査 報 告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第6章第49条により、
2020年度の事業・会計収支状況、預金・為替等の帳簿を監査した結
果、適正に執行されていることを認めます。

2021年 4月 29日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事

風早康平



武尾実



【1. 2021年度予算案の概要】（詳細は別紙の表を参照）

○経常収入：1196万：前年度予算+5万円

ほぼ去年並み、今期も秋季大会の現地討論会参加費（40万）を学会予算に組み込み、交流会費は開催予定なしのため計上しない。
学会グッズ（ノート）を引き続き販売予定 → 事業収入に含む（普及啓発目的のため）

○経常支出：2242万：前年度予算+100万円

秋季大会の学術講演会はオンライン開催とし、今期は業者委託予定（130万）。
ほかに、デジタル版名簿準備（13万）、理事選挙（28万）。
今期も秋季大会の現地討論会費用（40万）を学会予算に組み込み、交流会は開催予定なし。
それ以外はほぼ例年並み。

○収支差額：計算上は1046万円赤字

実際には、余裕を大きく取っているほか、節約等のためここまでの赤字にはならない想定。
引き続き節約へのご協力をお願いしたい。

【2020年度予算の例】：計算上は894万赤字 → 実際は黒字33万（ただしコロナ影響大）

【2019年度予算の例】：計算上は1030万赤字 → 実際の赤字76万（ただし名簿&選挙節約大）
秋季大会支出が去年より多い予定なので、大会参加費も案（去年並み）より増やす必要あり？

【2. 新型コロナウイルス感染拡大の影響】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今期も様々な事業が予定通り行えない可能性。
ただし予算積算は、基本的に予定通りの実施を想定。
- ・秋季大会は、学術講演会の完全オンライン化が既に決定している。
現地討論会会計は去年から学会予算に組み込んでいる。中止の場合にキャンセル料を学会予算から支出可能とするため。
- ・中止or延期の可能性のあるその他の行事：
サマースクール、地学オリンピック、ACV、公開講座講演会、防災シンポ。
（いずれも学会予算内でキャンセル料支出可能）
- ・今後、予定している行事を中止or延期する場合は、財務委員にもご一報ください。

以上

2021年度予算(案)

ver.210518a

勘定科目名称	2020実績	2021予算	予算額差異	備考
《経常増減の部》				
【経常収入】				
【会費収入】				
維持会員会費	2,815,000	2,735,000	-80,000	2021/4/8時点での会員数
学会会員会費	4,884,000	4,640,000	-244,000	2021/4/8時点での会員数
一般会員会費	930,000	925,000	-5,000	2021/4/8時点での会員数
【会費収入】合計	8,629,000	8,300,000	-329,000	
【寄付金収入】				
【寄付金収入】合計	0	0	0	
【補助金等収入】				
文部科学省助成金収入	538,834	700,000	161,166	
【補助金等収入】合計	538,834	700,000	161,166	
【事業収入】				
火山定期購読料	781,000	700,000	-81,000	PDF無料化で減少傾向
火山別刷販売金	256,489	200,000	-56,489	例年実績
予稿集販売金	148,940	200,000	51,060	印刷費支出と同額
書籍等販売金	339,971	300,000	-39,971	去年度実績(ノート販売含む)
大会参加費等	960,000	1,360,000	400,000	去年度実績+現地討論会40+交流会0
【事業収入】合計	2,486,400	2,760,000	273,600	
【その他収入】				
受取 利息	285	300	15	
雑 収入	256,329	200,000	-56,329	著作権料など、例年実績
【その他収入】合計	256,614	200,300	-56,314	
【経常収入】合計	11,910,848	11,960,300	49,452	うち現地討論40・交流0
【経常支出】				
【事業費】				
火山学に関する定期大会等の開催費				
予稿集印刷費	131,230	200,000	68,770	
予稿集発送費	19,850	50,000	30,150	
臨時雇賃金	25,440	300,000	274,560	
会場使用料・委託費	0	1,650,000	1,650,000	JpGUは計上せず、会場15・オンライン委託13Q、余裕20
旅費謝金	14,760	360,000	345,240	
通信運搬費	58,723	300,000	241,277	
機材借料	0	100,000	100,000	
現地討論会・交流会費	0	500,000	500,000	現地討論2万×20人、交流0、余裕10
雑費	105,494	800,000	694,506	消耗品等23、クレジット決済20、庶務7、余裕30
火山学に関する定期大会等の開催費 合計	355,497	4,260,000	3,904,503	うち現地討論40・交流0、余裕60
会誌機関紙研究報告書等発行費				
火山印刷費	1,804,445	3,760,000	1,955,555	火山260(65×4)、カラー負担66、余裕50
火山発送費	335,378	500,000	164,622	
別刷印刷費	59,070	200,000	140,930	
別刷発送費	7,140	30,000	22,860	
通信運搬費	3,004	20,000	16,996	
火山雑費	165,605	450,000	284,395	J-STAGE関係:火山20 予稿集15 余裕10
会誌機関紙研究報告書等発行費 合計	2,374,642	4,960,000	2,585,358	余裕60
公開講座講演会等開催費				
臨時雇賃金	8,480	50,000	41,520	学生アルバイト@8000*5
旅費謝金	17,814	300,000	282,186	
通信運搬費	49,194	100,000	50,806	
印刷費	176,850	250,000	73,150	
雑費	287,896	400,000	112,104	余裕10
公開講座講演会等開催費 合計	540,234	1,100,000	559,766	余裕10
火山学の普及啓発に関する事業費				
臨時雇賃金	0	8,000	8,000	防災0.8
旅費謝金	0	1,160,000	1,160,000	国際30、学校24、防災10、到来20、GP5、事業7、余裕20
通信運搬費	19,839	80,000	60,161	防災2、事業4、余裕2
印刷費	160,600	583,000	422,400	防災(シンボ8、パンフレット25)、事業25.3
雑費	126,475	214,000	87,525	国際1.3、学校2、事業0.1、余裕18
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	306,914	2,045,000	1,738,086	余裕40
火山学に関する研究奨励表彰費				
その他印刷費	24,920	50,000	25,080	各賞5(受賞8件)
奨励費	0	400,000	400,000	国際20x2
雑費	18,268	50,000	31,732	各賞5
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	43,188	500,000	456,812	
他団体援助金支出				
他団体援助金支出	600,000	800,000	200,000	EPS、地学五輪、サマスク、余裕20
他団体援助金支出 合計	600,000	800,000	200,000	余裕20
【期首・期末棚卸】				
売上原価	321,105	0	-321,105	
【期首・期末棚卸】合計	321,105	0	-321,105	
事業費 計	4,541,580	13,665,000	9,123,420	余裕190(余裕を除いたとしても実際はここまで支出はない予定)

2021年度予算(案)

ver.210518a

勘定科目名称	2020実績	2021予算	予算額差異	備考
【管理費】				
給料手当	3,724,977	3,900,000	175,023	余裕17
法定福利費	629,030	650,000	20,970	社保
福利厚生費	7,160	10,000	2,840	健診
旅費交通費	208,800	820,000	611,200	通勤費21, 理事会旅費40, 理事選挙1, 余裕20
通信運搬費	313,828	780,000	466,172	うち、富士山送料10, 総会資料送付9, 名簿11, 理事選挙15, 余裕10
消耗品費	85,866	210,000	124,134	+ 理事選挙3
光熱水料費	90,363	120,000	29,637	
賃借料	323,196	340,000	16,804	マンション管理、コピー機リース、他
租税公課	135,730	150,000	14,270	
支払手数料	778,152	840,000	61,848	会計事務所, 振込手数料
減価償却費	169,553	169,553	0	定額
徴収不能額	324,000	0	-324,000	
保険料	5,678	5,678	0	定額
雑費	239,671	760,000	520,329	HP改修20, 事務局15(うち会費4・総会3)、名簿2, 理事選挙9, 余裕30
管理費 計	7,036,004	8,755,231	1,719,227	余裕77
【経常支出】合計				
当期経常増減額	11,577,584	22,420,231	10,842,647	余裕267
当期経常増減額	333,264	-10,459,931	-10,793,195	(実際はここまで赤字にならない予定)
《その他資金の部》				
【その他資金収入の部】				
【その他資金収入の部】合計	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
【その他資金支出の部】合計	0	0	0	
《正味財産増減の部》				
当期正味財産増減額	333,264	-10,459,931	-10,793,195	
前期繰越正味財産額	32,792,232	33,125,496	333,264	
次期繰越正味財産額	33,125,496	22,665,565	-10,459,931	前期繰越正味財産額+当期正味財産増減額
固定資産額	21,463,788	21,444,235	-19,553	前期額-減価償却+退職引当金支出(15万)
期末棚卸高	1,042,973	1,042,973	0	去年度実績
前払費用	14,195	8,517	-5,678	保険料未経過分
前期繰越収支差額	9,924,940	10,604,540	679,600	
次期繰越収支差額	10,604,540	169,840	-10,434,700	次期繰越正味財産-固定資産-期末棚卸-前払費

日本火山学会表彰規程の変更

日本火山学会表彰規程を以下の通り修正し変更するので、報告する。

- ・第 2 条の日本火山学会研究奨励賞
修正前 「35 才以下」
修正後 「35 歳以下」
→ 規約における「才」と「歳」の混在を統一
- ・第 3 条
修正前 「表彰は各賞選考委員会が」
修正後 「各賞選考委員会が」
→ 後ろの文脈につながらず、「表彰は」を削除 表彰は運営細則において火山学会が行うと規定済み
- ・第 4 条
修正前 「日本火山学会普及啓発功績賞」
修正後 「日本火山学会普及啓発賞」
→ 記載誤り
- ・第 6 条
修正前 「とする。授賞件数は毎年 2 件以内とする。また、」
修正後 「とする。また、」
→ 授賞件数の規定は第 4 条で行われており、削除

特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程

(2003 年 10 月 12 日臨時総会報告, 2008 年 10 月 12 日臨時総会報告, 2010 年 10 月 10 日臨時総会報告, 2013 年 9 月 30 日臨時総会報告, 2016 年 5 月 24 日総会報告, 2017 年 5 月 22 日総会報告, 2020 年 8 月 28 日臨時総会報告, 2021 年 5 月 28 日総会報告)

1. 日本火山学会における各賞の選考はこの規程によるものとする。

2. 表彰の内訳は、日本火山学会賞 (Volcanological Society of Japan Award), 日本火山学会普及啓発賞 (Distinguished Public Awareness Award), 日本火山学会優秀学術賞 (Distinguished Academic Award), 日本火山学会論文賞 (Best Paper Award), 日本火山学会研究奨励賞 (Young Scientist Award), 日本火山学会学生優秀論文賞 (Best Student Paper Award) 及び日本火山学会学生優秀発表賞 (Best Student Presentation Award) とする。

○日本火山学会賞：日本の火山学の発展に対し長年において特段の貢献のあった個人または団体に授与する。

○日本火山学会普及啓発賞：日本の火山学の普及啓発に対し優れた貢献のあった個人または

団体に授与する。

○日本火山学会優秀学術賞：直近数年間に於いて火山学に関する優れた学術貢献のあった本会会員に授与する。

○日本火山学会論文賞：雑誌「火山」あるいは「Earth, Planets and Space」に掲載された論文中、火山学に関する独創的で特に優れた論文の著者に授与する。

○日本火山学会研究奨励賞：火山学に関する優れた論文を発表し、将来、火山学の発展への貢献が期待される 35 歳以下の本会会員（受賞対象年の 4 月 1 日で 35 歳以下の者）に授与する。

○日本火山学会学生優秀論文賞：火山学に関する独創的で特に優れた論文を投稿時点において学生として筆頭執筆した本会会員に授与する。

○日本火山学会学生優秀発表賞：日本火山学会秋季大会において筆頭講演者として優れた発表を行った学生に対し、口頭発表については日本火山学会学生優秀口頭発表賞を、ポスター発表については日本火山学会学生優秀ポスター発表賞をそれぞれ授与する。

3. 各賞選考委員会が受賞候補者の選考を行い、選考結果を理事会に報告し、理事会が受賞者を決定する。

4. 日本火山学会賞、日本火山学会普及啓発賞、日本火山学会優秀学術賞、日本火山学会研究奨励賞及び日本火山学会学生優秀論文賞候補者は、自薦あるいは他薦によるものとし各賞選考委員会が公募する。授賞件数はいずれも毎年若干名とする。

5. 日本火山学会論文賞の授賞対象は当該年の前 3 年間に発表された論文とする。授賞件数は毎年 2 件以内とする。また、論文筆頭著者として本論文賞を受賞できるのは 1 回限りとする。

6. 日本火山学会学生優秀論文賞の授賞対象は当該年の前 3 年間に発表された学生が筆頭著者の論文とする。また、本論文賞を受賞できるのは 1 回限りとする。

7. 日本火山学会学生優秀発表賞の授賞件数は毎年数件程度とする。また、口頭発表賞、ポスター発表賞を受賞できるのは、それぞれ 1 回限りとする。

8. 日本火山学会賞、日本火山学会普及啓発賞、日本火山学会優秀学術賞及び日本火山学会研究奨励賞の受賞者には定期大会での記念講演と「火山」への受賞記念の解説・紹介の投稿の機会が与えられる。

附則

1. この規程の変更は、理事会で承認し、総会に報告される。

特定非営利活動法人 日本火山学会（2021年5月）入退会・報告

〈会員関係〉

1. 入退会希望

2021年度・入会（承認済み） 個人：11名
維持会員 0名，学術会員 5名，一般会員 6名

2020年度退会 個人：17名 団体：1件
維持会員 5名，学術会員 8名，一般会員 4名 団体一般会員：1件

2020年度学生会員・期間満了退会 34名
維持会員 0名，学術会員 32名，一般会員 2名

2021年度・除名対象 個人：17名
維持会員 2名，学術会員 11名，一般会員 4名

2. 会員数

	維持会員	学術会員	一般会員	計
2020年度臨時総会（個人）	280	676	88	1044
2020年度臨時総会（団体）	2	0	19	21
名誉会員	10	0	0	10
2020年臨時総会後・合計	292	676	107	1075
2020年通臨時総会後入会（個人）	0	4	1	5
2020年臨時総会後入会（団体）	0	0	0	0
逝去	0	3	0	3
2020年度末・合計	292	677	108	1077
2020年度退会（個人）	5	8	4	17
2020年度退会（団体）	0	0	1	1
2020年度・期間満了退会（個人・学生）	0	32	2	34
2021年度・入会（承認済）	0	5	6	11
2021年度・会員種別変更	1	-1	0	0
2021年度・通常総会時・合計	288	641	107	1036
<hr/>				
2021年度・除名対象	2	11	4	17
2021年度・除名後・合計	286	630	103	1019

2021年度・通常総会時

維持会員（個人）：一般 276名 学生 0名
学術会員 一般 589名 学生 52名
一般会員（個人）：一般 86名 学生 2名

3. 2021年度・除名：17名

※6月下旬に除名警告書を発送後，8月末日までに会費の支払や会員資格継続希望の連絡がなければ除名。

4. 学生会員期間満了退会

学生会員継続申請未提出者 34名（内2名会費未納有り）

※2021年3月末日までに学生会費減額適用申請書／継続在籍届の提出がないため退会。
但し、未納会費は継続して請求する。

別紙試料

特定非営利活動法人 日本火山学会（2021年5月）入退会・報告

（別紙）

●2021年度・入会（承認済み）

維持会員 0名，学術会員 5名，一般会員 6名

・学術会員 1名

吉田康宏

・学術（学生）会員 4名

久保冨太郎・正畑沙耶香・近内雪乃・沼田和佳子

・一般会員 5名

阿部恒平・糸井達哉・近藤公平・辻原諒・吉田詠二

・一般（学生）会員 1名

中山瀬那

●2020年度学生会員・期間滿了退会：34名

・会費完納期間滿了退会学生 学術会員 30名

相澤正隆・朝倉由香子・猪狩彬寛・井上郁・及川元己・岡澤大市・岡田英賢・緒方美季
角想子・川寫弘之介・木谷悟郎・桐敷和・久次米晃輔・坂尾健有・塩崎紗希・菅原嵩史
鈴木花梨・田次将太・田中裕隆・田中竜太郎・寺山怜・長原翔伍・樋口和也・藤丸航
古屋海砂・宮野幹大・村上翔大・毛利元紀・渡部陽奈・MUKHALLAD FAIZ WILDAN・Kim Kyungmin

・2020年度未納学生学術会員：2名

永塚弘樹・光岡健

・会費完納期間滿了退会学生 一般会員 2名

菅原嵩史・樋口和也

●2020年度・退会

維持会員 5名，学術会員 8名，一般会員 4名，団体一般会員 1件

・維持会員 5名

鎌田浩毅・木佐洋志・鈴木隆介・鈴木裕一・長尾年恭

・学術会員 7名

陰山大和・佐藤智紀・佐藤弘幸・土山博昭・東宮英文・比屋根肇・横山勝三

・学術（学生）会員 1名

丸山照頼

・一般会員 4名

大石真士・勝田厚・竹中潤・弘中秀治

- ・団体一般会員 1件
浅間火山博物館

●逝去：3名

- ・学会員
植原茂次・白木敬一・高木章雄

●2021年度・除名対象：17名

維持会員 2名，学会員 10名，一般会員 4名，学術（学生）会員 1名

- ・維持会員 2名

宇野史睦・木村純一

- ・学会員 10名

飯塚進・石川政憲・太田一也・小野智三・窪田優希・小荒井衛・角森史昭・西野佳奈
宮崎真大・山下俊介

- ・一般会員 4名

坂内野乃・関口威人・諸江雄太・矢代晴実

- ・学術（学生）会員 1名（※会費未納のまま継続）

柘植鮎太

2021年5月18日
日本火山学会理事会

2021年度火山学会秋季大会の開催方式について

大会委員会

今年度の火山学会秋季大会の開催方式について、学術講演会は全てオンラインでの開催にすることは4月の理事会で了承されたが、さらに詳細について以下のような方針を理事会に提案することにした。

1. 開催日時は当初予定の9月から変更し、2021年10月20日（水）から22日（金）までとする。
2. 今年度の秋季大会は2019年までと同様に2会場使用するため、業者の方にお手伝いいただくことにする。そのために参加費は例年よりも高くなることが予想されるが、現在会費については検討中である。例年比で数千円の値上げになる予定である。
3. 一般公開セミナーについては、開催の可否・開催の形式・日程などについて検討中である。